

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校山形校
設置者名	学校法人 大原学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務 専門課程	経理本科2年制学科 (コンピュータビジネス コース)	夜・ 通信	680	160	
	経理本科2年制学科 (税理士コース)	夜・ 通信	680	160	
	経理本科2年制学科 (医療事務コース)	夜・ 通信	440	160	
教育・社会福祉 専門課程	介護福祉学科	夜・ 通信	456	160	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて授業科目一覧を公開 掲載URL https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校山形校
設置者名	学校法人 大原学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人大原学園HP 情報公開ページにて公開している 掲載URL https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/officer_list.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	司法書士事務所 所長	2019. 4. 1～ 2023. 3. 31	法人運営における法 務的な検証、管理
非常勤	Web デザイン・システム 開発・印刷関連企業 代 表	2019. 4. 1～ 2023. 3. 31	学生募集、教材開発 への助言
非常勤	前：不動産関連企業 代表	2019. 4. 1～ 2023. 3. 31	校舎等学習環境の 整備への助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校山形校
設置者名	学校法人 大原学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>1. 作成について</p> <p>授業計画書(シラバス)は毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容について検討を行い、学科の担当教員が作成を行っている。なお、検討にあたっては、専門分野に関する企業、団体等との連携により設置している教育課程編成委員会の提言を各授業科目の内容に反映させている。</p> <p>授業計画書(シラバス)の作成、記載項目は学校全体で定めたガイドラインに沿って行っている。</p> <p>2. 公表の時期について</p> <p>年間計画に基づき、教育課程編成委員会での意見収集を反映させたくうえで、前年度中に作成を行い、新年度開始前までにHPを通じて公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>学校法人大原学園HP 情報公開ページにて公開している。</p> <p>【掲載 URL】 https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/</p>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学則並びに履修要綱において、出席、試験、成績、進級および卒業要件について規定し、当該規定を遵守して各学生の学修成果に対して厳格な評価を実施している。なお、学生に対しては当該規定を学生便覧に記載して周知を図っている。

学則より抜粋

(試験)

第16条 学業成績は、授業科目ごとに行う試験によって、これを定める。ただし、授業科目によってはその他の方法で査定することができる。

2 試験には定期試験、追試験及び再試験がある。追試験はやむを得ない事故等により定期試験を受けなかった者に対して行い、再試験は受験の結果、不合格となった者のためにこれを行う。

3 追試験及び再試験は、本校において必要と認めたとときに限り、これを行う。

(学業成績)

第17条 学業成績の判定は、優、良、可、不可の4種をもってこれを表し、次のとおりとする。

(1) 経理本科2年制学科

優は80点以上、良は60点以上、可は50点以上、不可は49点以下とし、優、良、可を合格、不可を不合格とする。

(2) 介護福祉学科

優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は59点以下とし、優、良、可を合格、不可を不合格とする。

学生便覧より抜粋

1. 卒業について

各課程・学科の修業年限に在籍し、所定の授業科目の履修を積み重ね、各課程・学科の卒業に必要な授業科目および単位等を修得し、卒業審査に合格した者について卒業できる。その場合には卒業証書を授与する。

2. 進級について

各課程・学科において、所定の授業科目の履修を積み重ね、各課程・学科の進級に必要な授業科目および単位数を修得したと認められた場合、進級できる。

3. 学業成績について

学業成績は、授業科目ごとに行う試験によって判定する。ただし、授業科目によっては、その他の方法で判定する場合がある。

なお、学業成績は、学期または必要に応じて、授業の出席状況とともに保護者宛に通知する。

4. 授業について

全ての授業科目において、出席・欠席・遅刻・早退を記録する。各課程・学科の授業科目や授業時間、授業科目の単位数は、各課程・学科によって異なるため、入学後のオリエンテーションや進級ガイダンスなどで確認すること。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

学生便覧より抜粋

学業成績は、授業科目ごとに行う試験によって判定する。ただし、授業科目によっては、その他の方法で判定する場合がある。

なお、学業成績は、学期または必要に応じて、授業の出席状況とともに保護者宛に通知する。

- (1) 学業成績の判定は、「優・良・可・不可」の4種で判定し、「優・良・可」を合格(認定)とし「不可」は不合格(不許可)とする。

ランク	評定	評価内容
優	合格(認定)	内容を十分に理解し、応用できる
良		内容を理解している
可		内容をほぼ理解している
不可	不合格(不許可)	内容を理解していない

- (2) 不合格の科目については、特別試験を行い、基準点に達した場合に合格とする。

- (3) やむを得ない事情により、授業科目ごとに行う試験を受験できなかった場合、再試験などを実施する場合がある。ただし、外部の検定試験は、再受験などの措置はない。

- (4) 試験内容や判定基準は、各課程・学科によって異なるため、入学後のオリエンテーションや進級ガイダンスなどで確認すること。

学則より抜粋

(学業成績)

第17条 学業成績の判定は、優、良、可、不可の4種をもってこれを表し、次のとおりとする。

- (1) 経理本科2年制学科

優は80点以上、良は60点以上、可は50点以上、不可は49点以下とし、優、良、可を合格、不可を不合格とする。

- (2) 介護福祉学科

優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は59点以下とし、優、良、可を合格、不可を不合格とする。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

学校法人大原学園HP 情報公開ページにて公開している。
【掲載URL】 <https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

■教育目的

本校は、教育基本法及び学校教育法に基づき、簿記・税務会計、情報処理、医療事務などの商業実務分野及び福祉人材育成など教育・社会福祉分野の専門教育を施し、人格の陶冶を行い、もって関連産業に従事する有為な人材育成を目的としています。

卒業時点で身に付けている能力を以下のとおり定めます。

- (1) 社会で守るべき倫理や責任を理解している。
- (2) 各学科の教育課程に示す専門的な知識・技能を身に付けている。
- (3) 教育課程に示す知識・技能を身に付けるために自ら学ぶ姿勢を身に付けている。
- (4) 他者と協力し物事を成し遂げる姿勢と、そのために必要な表現力を身に付けている。

学則より抜粋

(卒業)

第18条 本校に在学し、下記に定める授業時間数以上を履修し、かつ、その該当する所定の授業科目について合格に達して卒業資格を得た者には、卒業証書を授与する。

- (1) 経理本科2年制学科は1,800時間
- (2) 介護福祉学科は2,044時間

(称号の付与)

第18条の2 前18条の規定により下記学科を修了した者には、次の称号を授与する。

課程名・学科名	称号
商業実務専門課程 経理本科2年制学科	専門士（商業実務専門課程）
教育・社会福祉専門課程 介護福祉学科	専門士（教育・社会福祉専門課程）

学生便覧より抜粋

1. 卒業について

各課程・学科の修業年限に在籍し、所定の授業科目の履修を積み重ね、各課程・学科の卒業に必要な授業科目に合格し、所定の全教育課程を修了したと認められると卒業できる。その場合には卒業証書を授与する。

- (1) 卒業を認められる者のうち、文部科学大臣が認める所定の学科を修了した者は、「専門士」の称号を授与する。
- (2) それぞれの課程・学科に定められた授業科目および単位数などで一定の基準を満たしていない者は、追試などを受けなければ卒業できない。
- (3) 卒業に関する要件は、各課程・学科によって異なるため、入学後のオリエンテーションや進級ガイダンスなどで確認すること。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

学校法人大原学園HP 情報公開ページにて公開
掲載 URL <https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/>
学生に配布する「学生便覧」において公表

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校山形校
設置者名	学校法人 大原学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	掲載URL https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/2019/financial-overview.pdf
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	経理本科2年制学科 (コンピュータービジネスコース)	○	×		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,800 単位時間	400 単位時間	560 単位時間	2,000 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			2,960 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
220人の内数		59人	0人	8人の内数	人	8人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 個別相談・指導等に対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、Eメール等で連絡、個人面談、保護者との連携、専門家によるカウンセリング等を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
20人 (100%)	人 (%)	19人 (95.00%)	1人 (5.00%)
（主な就職、業界等） （株）山形銀行、山形建設（株）、第一貨物（株）、（株）でん六、（株）ヤガイ、 山形おきたま農業協同組合、山形いすゞ自動車（株）等			
（就職指導内容） 全体指導によるレクチャー、個別相談、個別面接トレーニング、三者面談 など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 日商簿記検定 2級、3級、MOS（マイクロソフトオフィススペシャリスト）など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
53人	1人	1.9%
（中途退学の主な理由） 病気その他		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、ミニテストの成績等）をクラス担任ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務 専門課程	経理本科2年制学科 (税理士コース)	○	×			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,800 単位時間	2,880 単位時間	1,040 単位時間	1,040 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			4,960 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
220 人の内数	11 人	0 人	8 人の内数	人	8 人の内数		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、Eメール等で 連絡、個人面談、保護者との連携、専門家によるカウンセリング等を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 該当者なし			
(就職指導内容) 全体指導によるレクチャー、個別相談、個別面接トレーニング、三者面談 など			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 該当者なし			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3 人	1 人	33.33%
(中途退学の主な理由) 病気その他		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生の様子(出席状況、授業態度、交友関係、小テストの成績等)をクラス担任ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	専門課程	経理本科2年制学科 (医療事務コース)	○	×			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,800 単位時間	1,220 単位時間	880 単位時間	840 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			2,940 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
220人の内数	38人	0人	8人の内数	人	8人の内数		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 個別相談・指導等で対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、Eメール等で連絡、個人面談、保護者との連携、専門家によるカウンセリング等を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
21人 (100.0%)	0人 (0%)	21人 (100.0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 医療法人丹心会 吉岡病院、医療法人徳洲会 庄内余目病院、医療法人 佐々木歯科医院、 医療法人 苑田会、学校法人 慈恵大学 など			
(就職指導内容) 全体指導によるレクチャー、個別相談、個別面接トレーニング、三者面談 など			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 診療報酬請求事務能力認定試験 (医科)、医療請求事務検定1級、医療秘書実務検定1級			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
42 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由) 該当者なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、小テストの成績等）をクラス担任ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		専門課程	介護福祉学科	○	×		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,044 単位時間	1,068 単位時間	940 単位時間	456 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			2,464 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70人		18人	0人	3人	人	3人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照状況
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 個別相談・指導等に対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、Eメール等で連絡、個人面談、保護者との連携、専門家によるカウンセリング等を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6人 (100.0%)	0人 (0%)	6人 (100.0%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 特別養護老人ホームみはらしの丘、地域密着型特別養護老人ホーム袖崎、特別養護老人ホームさくらホーム天童 など			
（就職指導内容） 全体指導によるレクチャー、個別相談、個別面接トレーニング、三者面談 など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 介護福祉士、レクリエーションインストラクター			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14 人	2 人	14.3%
(中途退学の主な理由) 病気、経済上の理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生の様子(出席状況、授業態度、交友関係、小テストの成績等)をクラス担任ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
経理本科2年制学科 (コンピュータービジネスコース)	120,000円	660,000円	260,000円	
経理本科2年制学科 (税理士コース)	120,000円	660,000円	200,000円	
経理本科2年制学科 (医療事務コース)	120,000円	660,000円	200,000円	
介護福祉学科	120,000円	660,000円	260,000円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2018年度評価についてHP上に公開している。 掲載URL https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 当学園の教育理念は、学生に対して資格取得教育、実務教育を施し、人格の陶冶を行いもって有為な産業人を育成することである。この教育理念に基づき実践的な教育が実現出来ているか、また、その教育を実現するために必要な環境が整っているかについて、学校関係者評価委員会を設置して下記に示す評価項目から評価する。課題の残る評価結果については、課長職以上の管理職より改善計画を策定し、次年度以降の学校運営に反映させ改善を図る。 (1) 教育理念・目的・育成人材像 (2) 学校運営 (3) 教育活動 (4) 学修成果 (5) 学生支援 (6) 教育環境 (7) 学生の募集と受け入れ (8) 財務 (9) 法令等の遵守 (10) 社会貢献・地域貢献 (11) 国際交流		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
医療法人篠田好生会 篠田総合病院	平成31年4月1日 ～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
社会医療法人二本松会 かみのやま病院	平成31年4月1日 ～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
学校法人北杜学園 仙台青葉学院短期大学	平成31年4月1日 ～令和3年3月31日(2年)	企業等委員 (有識者)
医療法人丹心会 吉岡病院	平成31年4月1日 ～令和3年3月31日(2年)	卒業生

社会医療法人みゆき会 みゆきの丘	平成 31 年 4 月 1 日 ～令和 3 年 3 月 31 日 (2 年)	企業等委員
一般財団法人 山形県老人福祉施設協議会	平成 31 年 4 月 1 日 ～令和 3 年 3 月 31 日 (2 年)	企業等委員 (有識者)
社会福祉法人 友愛会	平成 31 年 4 月 1 日 ～令和 3 年 3 月 31 日 (2 年)	卒業生
有限会社 佐藤税務会計事務所	平成 31 年 4 月 1 日 ～令和 3 年 3 月 31 日 (2 年)	企業等委員
東北税理士会 山形支部	平成 31 年 4 月 1 日 ～令和 3 年 3 月 31 日 (2 年)	企業等委員 (有識者)
有限会社 佐藤税務会計事務所	平成 31 年 4 月 1 日 ～令和 3 年 3 月 31 日 (2 年)	卒業生
山形建設株式会社	平成 31 年 4 月 1 日 ～令和 3 年 3 月 31 日 (2 年)	企業等委員
山形商工会議所	平成 31 年 4 月 1 日 ～令和 3 年 3 月 31 日 (2 年)	企業等委員 (有識者)
山形建設株式会社	平成 31 年 4 月 1 日 ～令和 3 年 3 月 31 日 (2 年)	卒業生
(山形市) 城南むつみ町内会	平成 31 年 4 月 1 日 ～令和 3 年 3 月 31 日 (2 年)	地域住民
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2018 年度評価についてHP 上に公開している。 掲載 URL https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 大原学園グループ https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/
--

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。